

## 保原町農業協同組合（JAほばら町）



代表理事組合長	井上 賢一	役員数	23名
所在地	〒960-06 伊達郡保原町 字7丁目33-3	理事	18名（うち常勤 1名）
	☎0245-75-4111	監事	5名
設立年月日	昭和40年6月1日	職員数	101名（男66名 女35名）
		臨時	11名

### I 地区の概況

当町は県の東北部に位置し、県都福島市に隣接しており東西7.6km南北10.4km、総面積4208平方kmである。

町の北端を阿武隈川が北流し、その流域から町の中心部にかけて平地が広がり南西部は阿武隈高地に属する丘陵地帯となっている。平坦部の海拔は平均50mで、海拔200m以上の山間地面積は町の26%程度にすぎず、平坦地は36%を占め、地質は比較的恵まれた条件になっている。

この恵まれた立地条件を活かし農家の努力によって、戦前の養蚕地帯から戦後食糧危機の時

代を経て、消費者のニーズに応え園芸作目の積極的導入を図った。果樹、そ菜、米を基幹作目としこれの補完作目に畜産、菌茸類を設定して、地域ぐるみの複合経営体系を確立している。

古来から営まれていた養蚕業は、時代の変革と共に多種多様なニット産業に移り変わり、町を代表する伝統産業と呼ばれるまでに成長した。

保原町は「くだもの里・ニットの町」として全国に知られる様になった。また近年では町内2か所の工業団地に、大手企業が進出して来て活気づいている。

## II 50年のあゆみ

### 1 地区農業の変遷

当地区の農業は、一部山間部があるが大方は平坦な地形で用水・気候に恵まれた農業である。耕地面積は1780haで、水田700ha、果樹園695ha、そさいを主とした普通畑が385haである。

昭和20年代には米作・養蚕が中心に補完作物として穀物（小麦、大麦、大豆等）を栽培していた。上保原高子地区では桃の栽培を始めていたが、忌地現象によりぶどう栽培に変わった。

町内5農協が合併して保原町農協が発足した40年頃ころから果樹の栽培が全地区に普及し、部会活動も積極的に行われるようになった。

社会経済の急速な発展に伴い、地域産業の進展と流通機構の改善並びに強い生産者の要望と

市場の要請等により、41年から共選場の完備が図られ、取扱もウナギ登りに多くなり、「くだものの里・ニットの町」として全国に売り出された。

保原を代表する作物の桃は53年まで毎年増産されたが、その後は伸び悩みの状態が続いており、品種更新等の努力がなされているが、気候等に支配され苦勞が多く、加工用桃は輸入自由化により中国より大量に入り価格低迷が余儀なくなっている。

54年には、野菜販売取扱額10億円目標に生産拡大推進大会を開催した。この年の青果物取扱額が31億1700万円となり現在までの最高である。

保原・大田地区において野菜（にら・きゅうり等）の生産が多くなり、54年に鮮度保持するた

めの野菜予冷库、55年には野菜集送センターをオープンし一元出荷の体制確立を図った。

56年には、いちご販売額2億円を達成し毎年栽培農家が多くなっている。

中心であった養蚕は、絹織物等の輸入自由化繭価の下落、従事農業者の老齢化により年々衰退している。

平成5年は、米が大凶作となり平成の米騒動と米の緊急輸入があり時代の変動を感じる。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

項目		年次					
		25	35	40	50	60	2
総農家戸数（戸）		2,234	2,220	2,204	2,118	1,990	1,526
うち 専業（戸）		1,720	1,105	568	276	323	236
I種兼業（戸）		275	728	916	824	466	292
II種兼業（戸）		239	387	720	1,018	1,201	998
経営耕地面積（ha）		1,679	1,966	1,891	1,761	1,642	1,475
うち 田（ha）		764	816	816	750	691	617
畑（ha）		498	531	381	307	342	328
樹園地（ha）		417	619	694	704	609	530
収 穫 面 積	稲（ha）	746	816	830	705	606	494
	麦類（ha）	431	454	155		1	3
	野菜類（ha）	150	228	148	125	167	166
	果実類（ha）	111	360	481	595	590	486
	飼料作物類（ha）		35		12	13	8
	たばこ（ha）	20	6	6	1		
飼 育 頭 羽 数	乳用牛（頭）	12	145	178	90	89	31
	肉用牛（頭）	735	636	236	158	483	167
	豚（頭）	170	547	1,488	1,213	1,192	226
	にわとり（千羽）	5	12	20	15	18	16
	ブロイラー（千羽）				51	105	

（注）ブロイラー 50年以降は出荷羽数

## 2 農業協同組合の設立と合併の経過

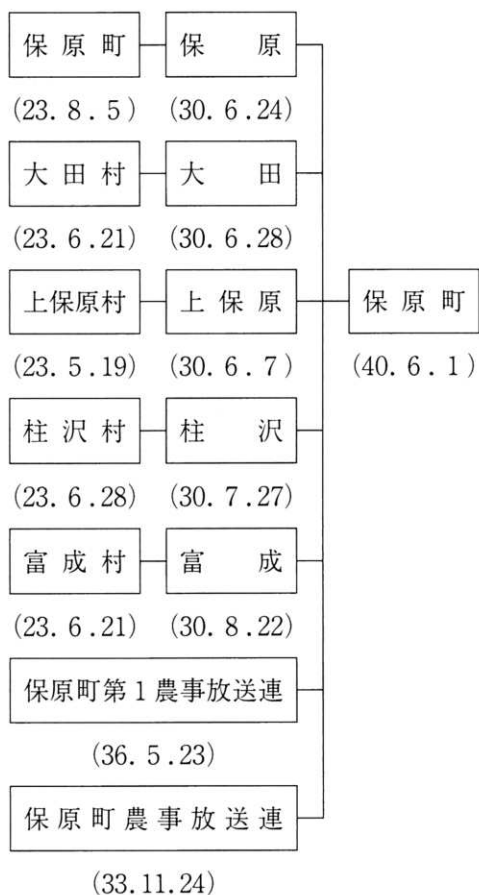
### (1) 設立

J A保原町の前身は、保原町農業協同組合、大田村農業協同組合、上保原村農業協同組合、柱沢村農業協同組合、富成村農業協同組合である、昭和23年にそれぞれの町村の農業会の資産を受け継いだ農業協同組合である。

### (2) 農事放送連合会の設立

昭和33年、上保原農協、柱沢農協、富成農協、が新農村建設指定地域の県補助により保原農事放送農業協同組合連合会を、また36年には、保原農協、大田農協が保原第一農事放送農業協同組合連合会をそれぞれ設立し、組合員に農業、市況等の情報提供を行った。

図表 2 合併等の経緯



### (3) 保原町農業協同組合の設立

町内5農協による農機具SSの運営や農事放送連等の農協間協同事業運営や、中央会等の積極的推進と相まって合併機運は急速に高まり、昭和40年6月1日に町内5総合農協と2農事放送連の合併が実現し保原町農業協同組合が発足した。

## 3 経営の推移

### (1) 農業協同組合の設立まで

昭和20年8月15日アメリカを始めとする連合軍に無条件降伏し歴史的運命を迎えた。

アメリカGHQの指令に基づき農業会を解散し、民主的農業協同組合の設立となった。

23年2月農業会解散準備総会と農業協同組合の設立総会が開かれ、農業会の資産は完全に農業協同組合に承継され事業が進められた。

### (2) 設立当時 — 苦難の時代 —

戦争直後は、肥料等の不足によって農業生産が極度に低下し米不足の声が起こったが、農協には売るべき肥料等がなく、食べられる物は総て食べて飢えをしのいだ時代であった。

それに加えて25年の朝鮮動乱に端を発したインフレは長く国民生活をおびやかした。

こうした背景のなかで農協の運営は不良購入品の在庫や不良資産等を抱え、各農協の経営は

図表 3 合併参加農協の概要

組合名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
保原	三瓶 英雄	661	15	22
大田	舟山 角三	581	16	20
上保原	和光 輝雄	485	15	22
柱沢	大河原 一	447	9	17
富沢	井上敬三郎	369	12	12

行き詰まっていた。小幡中瀬農協はこのようなかで残念ながら解散せざるを得なかった。

組合員には農協に対する貯蓄意識などはまずなく販売代金の支払い窓口に過ぎなかった。

農協の収入源は米の取扱手数料と農業倉庫保管料が最大の収入源であった。

このような環境から適性規模を求める声が高まり、中央会としても合併推進に積極的に乗り出した。

### (3) 30年代 — 貯蓄増強運動・共済事業 —

信用事業の貯金量はなく貯払のできない状態が年に1・2回あり、貯蓄増強運動が叫ばれるようになった。34年末に県下一斉に貯蓄運動が展開され、今までにないタスキ掛けによる組織ぐるみの運動を展開した。金融係は毎日組合員宅を訪問し、現金全額の貯金をお願いし、販売係は米、卵等を集荷して貯蓄運動をした。組合員に貯蓄意識が高まり、目標を達成し、貯蓄運動を定着させることができた。

さらに、30年より共済事業も始まり建物更生共済1・2型を主体として実施した。また、その資金の還元融資として藁屋根解消運動を展開し、屋根替資金の融資を行い金融、共済事業の充実を図った。

以上のような農協運営のなかで、40年6月1日に保原町内5農協と2農事放送連が合併し、保原町農協が誕生した。

### (4) 40年代 — 合併・設備投資・

#### 米の減反 —

合併当初は、事務その他業務執行体制の確立と持ち込み赤字278万円の処理等に費やされ、組合員の期待に添い得なかったこともあったが、第2年度において事業の基盤となる販売事

業の拡大と改善を図るため中央共選場を建設し、桃の販売において量的にも価格的にも予期以上の成果を上げることができた。しかし業者攻勢が強く生産部会の組織強化を図りながら推進した。

2年度の決算は526万円の黒字となり、新農協は高度経済成長と相俟って大きく飛躍する年となった。

42年度は政府の公定歩合の引き上げ等一連の金融引締策と消費者物価の高騰で生活の安定を見るに至らなかったが、地区の農家経済は概ね順調で農産物価格の高騰は無かったものの気象条件に恵まれ米作は引続き大豊作となり農家所得の増加を見る事ができた。

金融面では、農家住宅新築、改善、農機具の導入等活発な資金需要があり、貯金の増強を図ると共にオリベツテの会計機を導入し事務の改善を図ったが、プログラム作りに苦労もあった。

43年は、共選場設備取得第2次計画に基づく中央共選場の共選機の増設により最高1日9000ケースに能力アップ、大田共選場の新設5000ケース、柱沢共選場の増築・増設による6000ケース、計日産2万ケースの処理能力となった。

大田共選場を新築した43年は雨の多い年で、共選場より桃を満載にして出発し動きだした途端に車が沈み、別な車を呼んで一晩中桃の荷卸と荷積みに追われ終わった時は朝の5時であり、いまだにあの辛かった事が思いだされる。

農機具・自動車の急速な普及により整備士を採用し、43年11月自動車整備工場の認可が下り組合員サービスに努めた。自動車の普及はめざましく、ガソリン消費の急増により、4給油所を近代設備に改善しそれぞれ営業を開始した。

44年の農業は、農産物過剰の年で米の売渡しも40,595俵(60K)と最高の実績となり、また

加工桃は45年に開催される万博期待需要により値上がりし販売高は10億円を突破した。

45年度には、史上未だかつてない米の生産調整が実施され農政は大きな激動の時代を迎えた。しかし、転作奨励金等によって大した混乱もなく実施された。その後は、奨励金の減額、対策費の取消など問題になってきている。

45年は、総ての施設が老朽化してきた有線放送の自動化への改良に着手した。

本所事務所は46年7月に新築落成した。3階は総合結婚式場として生活改善事業の使命を果たし、好評を得ることができた。また、7月に富成共選場も完成し稼働した。

日本列島改造等一連の国策によって土地価格並びに諸物価が高騰し、国民生活に極めて大きな影響を及ぼしている中で、48年に柱沢給油所、生活センター等を建設したが、材料が不足し苦勞をしたが何とかこれを克服し、11月23日に生活センターをオープンして組合員の期待に応えることができた。

この年は、大干ばつとなり山間部においては飲料水にも支障を来し、農作物にも多大の被害を受けた。

#### (5) 50年代 — 販売事業充実・

##### 支所新築・オンライン —

昭和50年にはにら、51年はきゅうり、52年はしいたけと3年続けてそれぞれ販売高1億円を達成し、55年には野菜だけで10億円の取扱となった。54年の総販売高は31億円を越え、史上最高となった。

54年には他金融機関との遅れをとり戻すために、全銀内国為替制度に加盟し内国為替業務を取り扱う事になり、さらには公共料金の自動振替を実施する等、組合員の利便に寄与してきた。

こうした中で、いち早く時代を先取りしてオンライン化し、56年6月にスタートした。実施に先立って部落座談会を開催するなど組合員の理解と協力をえた。58年には全農協がオンライン化され、59年2月には農協貯金県内ネットサービスが実施され、つづいて8月には全国ネットサービスとして全国どこでも農協貯金の預け入れ、払い戻しが行われる様になり、11月にはキャッシュコーナーも設置した。

事務は、この20年間の手書、手計算からコンピューターにより集中的、迅速に処理されることとなりコストの引き下げができた。

施設については、51年4月富成給油所、52年11月ライスセンター、54年2月自動車整備工場、55年1月富成支所、55年3月野菜集送センター、56年4月上保原支所、57年11月上保原給油所、58年6月農業倉庫（低温政府指定）59年12月大田支所等の新築を行なった。

決算状況も良く、毎年度の出資配当・利用高配当を増資に回して固定比率の改善に努めると共に諸積立を行い内部留保に努めた。

#### (6) 60年代から平成時代

##### — 全中優良賞受賞・自由化時代 —

60年5月に総ての事業が優秀であると全中の優良賞と全共連の農林水産省経済局長賞とを受賞して、財務事業各面において名実共に優秀であることの面目をほどこした。

61年には最後の柱沢支所事務所を新築し信用を増し、信用事業強化運動を行い年末貯金100億円を達成した。しかし融資が伸び悩みで融資の伸長を図るため自動車ローンの拡大を図った。

経済事業においては電算化が一番遅れていたが62年に購買オンラインがようやく稼働した。購買未収金管理システムを組合員に理解して納



得して貰うのに時間を要したが、組合員の協力により供給高も下がる事なく移行することができた。また平成3年4月配送センターオープンを目標に部落座談会・臨時総会などを開いて組合員の理解に努め、目標通りにオープン式をすることができ、配送業務と購買事務の合理化が図られた。

購買事業は生活事業を除いて事業の伸長が見込まれず保原町、霊山町、伊達町、月舘町の4農協で伊達南部食材宅配センターを開設して新規事業を開拓、目標の1200食を達成し、組合員の好評を得ている。

平成4年度には、上保原スタンド改装オープンし、スタンドサービス教育を徹底し揮発油量40キロから70キロスタンドにした。

大田圃場整備事業が開始されると共に63年より集団大豆転作を実施し減反面積をクリアすることができた。

平成2年には、組合員・地域住民のニーズに対応するために農協旅行センターを開設して魅力ある農協旅行づくり努め、平成5年度には1億1700万円の取扱実績を収めた。

平成4年には、本所事務所も22年経過し金融窓口としてのイメージも低下し全体に汚れて暗くなったので全面改装工事を行った。

平成5年は戦後最大の凶作となり、米不足騒ぎが10月頃よりエスカレートして玄米60キロ4万円台に高騰した。政府は米の部分輸入自由を容認しタイより米の緊急輸入をするなどしたが、美味しくなく悪評のみを残した。

図表4 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

項目		年度	24	30	40 (合併年度)	50	60	5
正組合員戸数(戸)			2,041	2,215	2,173	2,124	2,106	2,079
准組合員戸数(戸)			118	156	293	498	477	1,072
資 産	余 裕 金		10,250	29,128	289,831	1,866,468	6,430,128	12,650,916
	貸 出 金		9,721	28,346	303,341	1,541,267	3,118,503	4,046,230
	その他流動資産		3,102	35,295	89,937	473,276	920,683	805,853
	固 定 資 産		2,314	10,581	60,306	426,253	784,764	789,978
	外 部 出 資		236	7,379	11,704	39,793	126,263	191,785
負 債 及 び 資 本	貯 入 金		23,256	60,597	544,107	3,576,548	9,099,492	15,264,704
	借 入 金		494	29,237	129,813	46,042	148,687	241,827
	そ の 他 負 債			8,545	42,687	453,498	1,176,637	1,614,151
	出 資 金		1,814	11,912	39,238	197,534	644,320	829,818
	積 立 金		26	267		44,395	233,974	469,974
剰 余 金		33	171	-726	29,040	77,231	64,288	
主 な 事 業 実 績	販 売 取 扱 高		40,484	148,780	561,150	2,225,440	3,011,325	2,420,610
	うち 米 穀			68,906	193,443	516,443	582,995	287,630
	青果物			51,631	309,584	1,533,986	2,289,568	2,064,840
	畜産物				54,738	175,011	138,762	68,140
	購 買 取 扱 高		18,336	73,491	238,803	1361,249	2,162,743	2,025,280
	うち 生産資材			46,906	192,354	741,400	1,097,849	970,590
	生活資材			10,058	46,449	619,849	1,064,894	1,054,690
長期共済保有高				1,296	15,755	112,947	155,686	

(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計

## Ⅲ 年 表

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>23年</b>		<b>42年</b>	
5.19	上保原村農業協同組合発足	1.25	営農生活貸越制度 農事組合長会議
6.21	大田村農業協同組合発足	3.28	理事会(信連会館取得・事務会計機購入)
6.21	富成村農業協同組合発足	6.13	信連会館取得
6.28	柱沢村農業協同組合発足	8. 3	事務会計機購入
6.30	小幡中瀬農業協同組合発足	<b>43年</b>	
8. 5	保原町農業協同組合発足	1.10	理事会(自動車整備工場設置)
<b>25年</b>		2. 9	理事会(給油所設置)
4. 1	伏黒村小幡中瀬地区が保原町に編入	7.27	共選場落成式(大田共選場新築、柱沢・中央共選場増築)
<b>26年</b>		11. 5	自動車整備工場認証受領
	再建整備の指定を受ける(小幡中瀬)	<b>44年</b>	
<b>28年</b>		1.11	理事会(有線放送施設改善対策)
5.28	貯蓄優績 農林中金支店長表彰(大田)	5.10	大田共選場に予冷库設置 野菜コールドチェーン事業開始
<b>30年</b>		5.27	系統利用優良 経済連表彰
3.14	小幡中瀬農協解散	<b>45年</b>	
3.31	大田村、上保原村、柱沢村、富成村、保原町が合併して保原町となる	5.28	系統利用優秀 経済連表彰
6. 7	上保原農業協同組合と名称変更	11.19	農協大会 優良普通表彰
6.24	保原農業協同組合と名称変更	<b>46年</b>	
6.28	大田農業協同組合と名称変更	3.16	有線放送電話開通(県下第二番目のクロスパー機採用)
7.27	柱沢農業協同組合と名称変更	7. 1	本所事務所落成
8.22	富成農業協同組合と名称変更	8. 1	富成共選場落成
<b>33年</b>		11. 5	総合結婚式場オープン
11.24	保原町農事放送農業協同組合連合会設立(上保原・柱沢・富成)	<b>47年</b>	
<b>36年</b>		5.26	系統利用優良 経済連表彰
5.23	保原町第一農事放協送農業協同組合連合会設立(保原・大田)	6. 7	共済優績 全共連表彰
<b>37年</b>		7.10	NHK「田園アルバム」保原の桃を紹介
9.12	共済優績 全共連表彰(保原・上保原・柱沢)	<b>48年</b>	
<b>39年</b>		11.23	生活センターオープン
6.12	共済優績 全共連表彰(大田・柱沢)	<b>50年</b>	
11. 7	大田農協 農協大会 優良普通表彰	4.26	合併10周年記念祝賀会
<b>40年</b>		5.29	系統利用優良 経済連表彰
6. 1	大田農協、上保原農協、柱沢農協、富成農協、保原農協が合併して保原町農業協同組合発足	11.20	第1回農協祭
8. 3	旧農協財務引継(理事会)	<b>51年</b>	
<b>41年</b>		4.14	富成給油所オープン
4.16	第1回通常総会	<b>52年</b>	
5.30	系統利用優良 経済連表彰	5.26	系統利用優良 経済連表彰
7. 3	中央共撰場落成式	11.28	大田粉乾燥調製施設落成
11. 5	増資運動支所別会議(～9日)	<b>53年</b>	
		5.23	共済優績 全共連表彰
		5.26	系統利用優秀 経済連表彰
		6.11	宮城県沖地震(共済加入者136戸に被害)

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>54年</b>		5.21	共済優績 全共連表彰
1.24	自動車整備工場落成式	11.24	A T M設置 (生協保原店内)
5.23	共済優績 全共連表彰	<b>63年</b>	
<b>55年</b>		2.20	婦人部健康増進大会 (保原町民センター150名参加)
1.15	富成支所事務所落成	5.19	共済優績 全共連表彰
3.23	予冷庫、野菜集送センターオープン	5.20	系統利用優良 経済連表彰
3.31	舟山角三組合長 農協五連会長就任		優良農業倉庫表彰 農水大臣賞受賞
5.21	共済優績 全共連表彰	6.10	有線テレホンサービス開始 (青果物市場 営農生活、町)
	異常気象 (冷害) 水稲作況指数61 桃品質低下	12.12	小集団活動研修会 (~13)
<b>56年</b>		<b>平元</b>	
4. 2	上保原支所事務所落成	3. 6	消費税担当者研修会
5.20	共済優績 全共連表彰	5.18	共済優績 全共連表彰
6.15	農協オンライン業務開始	6.26	北海道旅行 (定期積金旅行160名参加)
8.23	台風15号 桃、リンゴ、きゅうり、出穂 期の水稲に大被害	12.16	S S 事業所前にコイン精米所・ハウス・ 物置展示場オープン
12.12	大雪 (~24) ハウス・ぶどう棚倒壊、果 樹枝折れ等大被害	<b>2年</b>	
<b>57年</b>		1.23	沖縄旅行 (定期積金旅行294名) (~27)
5.18	共済優績 全共連表彰	5. 2	大田支所にコイン精米所オープン
5.27	系統利用優良 経済連表彰	7.13	生活センター改装記念売出し (~15)
11. 2	上保原給油所オープン	10.27	旅行センターオープン
<b>58年</b>		<b>3年</b>	
5.20	共済優績 全共連表彰	1.21	臨時総会 (配送センター設置)
6.26	低温農業倉庫落成	3.25	配送センターオープン
12.14	堆肥センター落成	4.24	共済友の会設立総会 (会員289名)
<b>59年</b>		<b>4年</b>	
2.13	農協貯金県内ネット取引開始 (キャッシュ カード使用開始)	2.10	伊達南部食材宅配センターオープン
5.18	系統利用優秀 経済連表彰	2.15	第1期3ケ年計画とC I 推進実践プロジ ェクト検討会
5.23	共済優績 全共連表彰	3.17	共済友の会主催ミニドック実施
8.13	全国銀行内国為替制度へ加盟	4. 1	愛称が 農協よりJ A に変わる
11. 6	A T M設置 (S S 事業所前)	6.24	伊達地方J A 合併研究会設立総会
12.22	大田支所新築落成式	9. 5	婦人部バレーボール県大会 優勝
<b>60年</b>		9.12	農青連ソフトボール県大会 準優勝
3. 8	全中の優良賞受賞	11. 1	葬祭事業 経済連と提携により営業開始
5.23	共済優績 全共連表彰 農林水産省経済 局長賞 (共済保有高戸当4500万円達成)	12.18	A T M設置 (高子)
5.28	貯蓄優績 信連表彰	<b>5年</b>	
6. 1	合併20周年記念式典	6. 4	伊達地方J A 合併研究会
7. 3	保原町航空防除事業推進協議会設立総会	8. 9	貯金口座番号7桁移行方部別会議
<b>61年</b>		9.11	農青連ソフトボール県大会 優勝
7.19	柱沢支所事務所・野菜集出荷所落成	10. 8	役員に対し合併研究会経過報告
8. 5	大雨による大水害発生	11. 4	合併研究会幹事会
8.12	A T M設置 (生活センター前)	12.10	役員管理職 合併勉強会
<b>62年</b>		12.27	合併研究会監事会
5.11	購買事務オンラインに移行		戦後最大の凶作



## IV 資 料

(平成5年度末現在)

### 1 組合員

( )は戸数

正組合員		准組合員		合 計	
個人	法人	個人	団体	個人	法・団
2,091		1,095	9	3,186	9
(2,078)		(1,072)		(3,150)	

### 2 役員及び参事

代表理事組合長	井上賢一	理事	菅野正光
第一理事	新関茂雄	理事	山田敏雄
理事	大河内栄祐	理事	清野公治
理事	樋口静男	理事	菅野信治
理事	舟山榊蔵	理事	高橋俊衛
理事	菅野恒次	代表監事	
理事	清野均	監事	穴戸吉寛
理事	笠原達男	監事	鈴木伊勢吉
理事	三瓶数衛	監事	森藤哲次
理事	大橋利重	監事	佐藤完治
理事	長谷川広	監事	野田基治
理事	熊田利一	参事	安田善也
理事	藤原憲夫		

### 3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
66	35	101	8	1

### 4 協力組織

名 称	代 表 者	会 員 数
農事組合		98組合
農青連	渡辺幸市	75
婦人部	松本悦子	1,290

### 5 生産部会

名 称	代 表 者	会 員 数
稲作部会	大橋利重	100
果樹部会	加藤繁雄	98
もも部会	清野均	425
りんご部会	原田誠一	90
柿部会	菅野晴雄	340
プラム部会	高橋保	282
ぶどう部会	神保与志邦	54
いちご部会	菅野善一	89
にら部会	佐々木芳徳	167
きゅうり部会	加藤穰	118
しいたけ部会	宮口孝	43
花卉部会	古関洋一	13
あんば柿部会	長沢忠雄	57
高田梅部会	松本昭栄	95
肉牛部会	菅野清	16

(注) 稲作部会と果樹部会の部員数は役員数

### 6 主な施設

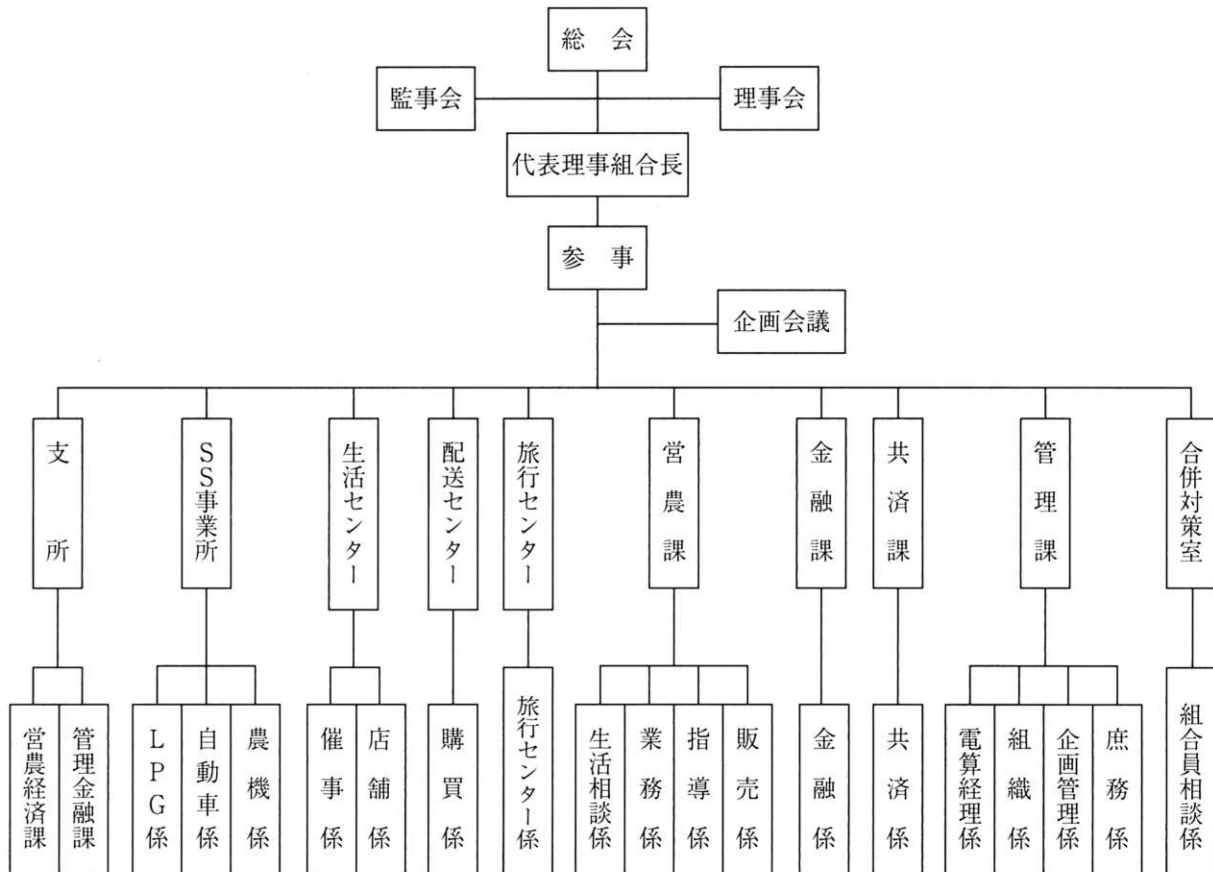
名 称	所 在 地
本所・保原支所	字7丁目33-3
大田支所	大字大泉字中野内79-1
上保原 〃	大字上保原字上ノ原1-8
柱沢 〃	大字柱田字台60
富成 〃	大字富沢字諏訪前45
生活センター・ Aコープ本店	字7丁目33-3
店舗	大字大泉字中野内79-1
〃	大字上保原字上ノ原1-8
〃	大字柱田字台60
〃	大字富沢字諏訪前45
自動車整備工場	字下野崎5-1
農機具 〃	〃 〃
プロパン庫	〃 〃
野菜予冷库	〃 〃
堆肥センター	大字二井田字一本杉74
配送 〃	大字大泉字小作逢115
野菜集出荷場	字京門44-1
ライスセンター	大字大泉字中野内13-1
農業倉庫	〃 〃 12-1
選果場	字京門44-1
〃	大字柱田字金山37-1
給油設備	大字大泉字中野内79
〃	大字上保原字上野原1-7
〃	大字柱田字宮の内103-2
〃	大字富沢字諏訪前30-4

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
40～49	舟山 角三	2～5	森藤 勇
62～元	和光 輝雄	5～	井上 賢一

参 事			
40～49	森藤 勇	57～57	佐藤 幹夫
49～51	山田 武	57～62	佐藤 長夫
51～55	安田 由一	62～2	菅野 正光
55～57	水口 正信	2～	安田 善也

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

大田農協

23～24	東城 平治	32～40	舟山 角三
24～32	大山 直平		

保原農協

23～30	菅野 貞吉	37～39	佐藤 勤
30～37	村上 一	39～40	三瓶 英雄

上保原農協

23～25	一條 勝次	36～40	和光 輝雄
25～36	和光 弥七		

柱沢農協

23～40	大河原 一
-------	-------

富沢農協

23～35	佐藤 了寿	35～40	井上敬三郎
-------	-------	-------	-------